株式会社オービーシステム

2027/3期　2Q決算説明資料

The OBS Way

～Creating the future with new value ～

2026年11月6日

株式会社オービーシステム

東証スタンダード市場:5576



1 | 会社概要

2 | 2027/3期 2Q決算概要

3 | 中期経営計画(連結) 進捗状況

The OBS Way
~ Creating the future with new value ~

| APPENDIX

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

1. 会社概要（当社の歩みと特徴）

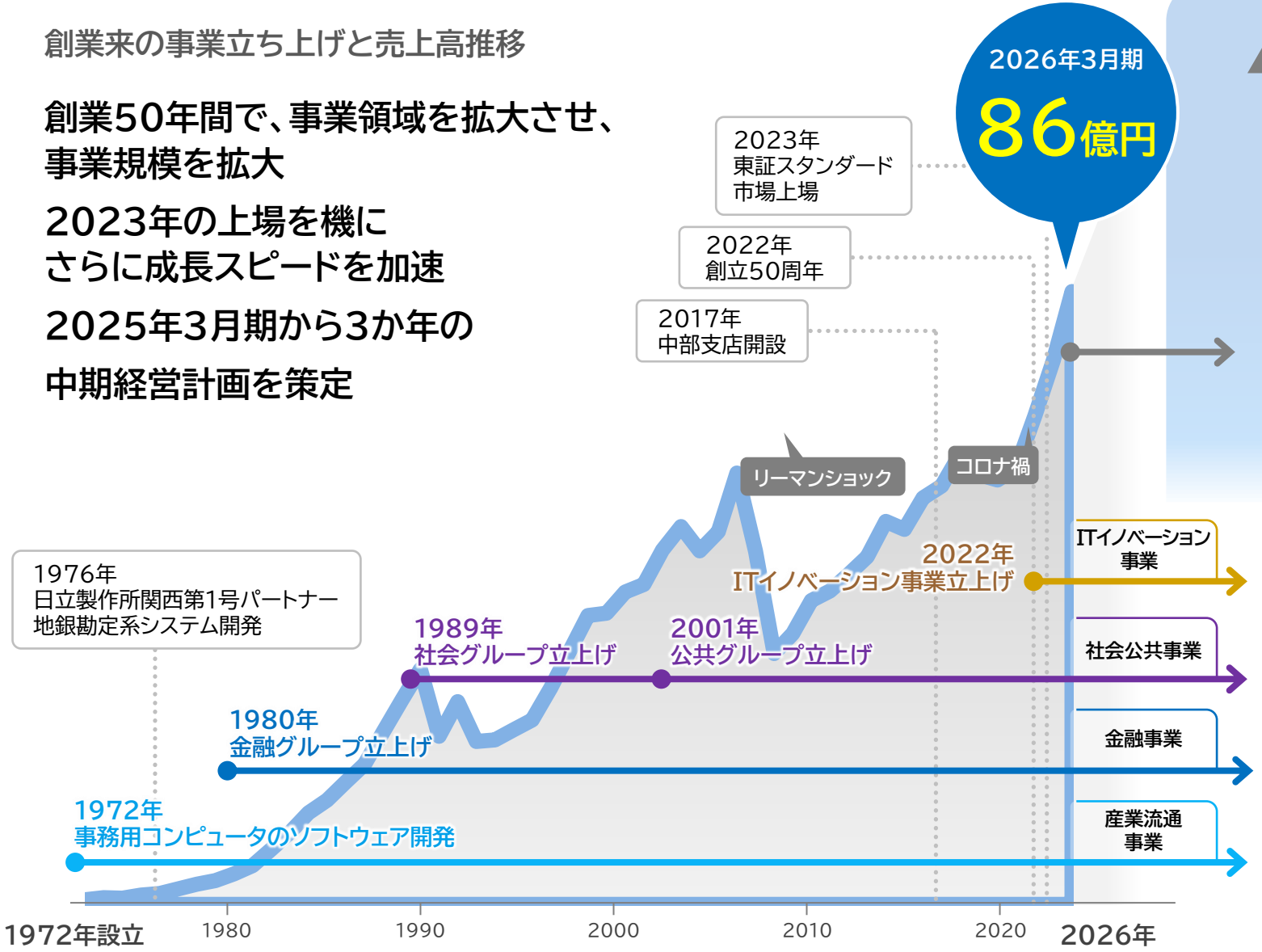
Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

創業来の事業立ち上げと売上高推移

創業50年間で、事業領域を拡大させ、事業規模を拡大

2023年の上場を機にさらに成長スピードを加速

2025年3月期から3か年の中期経営計画を策定



2027年3月期は更に拡大を図る

2026年3月期 過去最高売上高を連続更新

2025年5月1日
株式会社グリーンキャットを子会社化

2024年4月1日
株式会社ヒューマン＆テクノロジーを子会社化

2023年6月の東証スタンダード市場上場を機に、事業拡大を加速

現在は

産業流通系、金融系に加え、社会公共領域に展開
（2026年4月ITイノベーションを金融事業に統合）

1976年

日立製作所の関西進出時に
ビジネスパートナーとして取引を開始
地銀の勘定系システム開発参加以降
同社グループとの取引関係を拡大

1972年

オービック向けソフトウェア開発会社として設立

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

- システムインテグレーションサービスの提供を主たる事業とする単一セグメント
- 事業戦略上、「金融」、「産業流通」、「社会公共」の3つのサービスラインに区分（2026年4月にITイノベーション事業を金融事業へ統合/案件ニーズにスムーズに対応できる体制を確立）

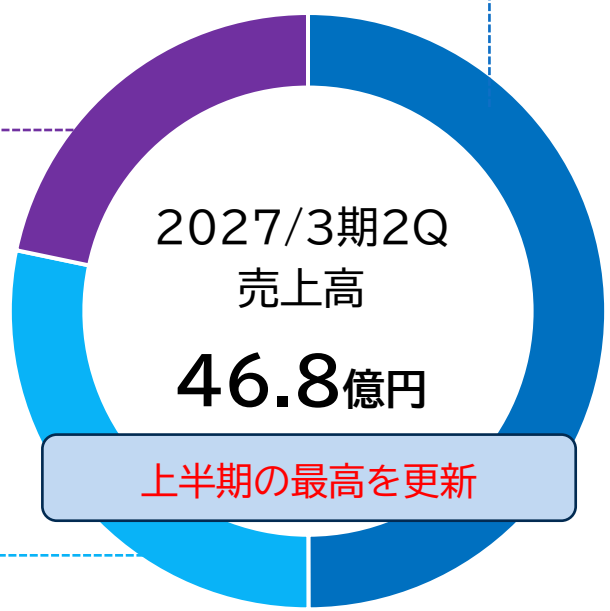
社会公共事業 21.7%

- 電力ICT託送システム
- 道路、河川、ダム等の監視制御システム
- 電力系統制御システム
- 鉄道電力管理システム
- 官公庁 / 自治体システム、教学システム、等

産業流通事業 28.3%

- 流通 / 医薬、自動車関連システム
- 家電マイコンソフト、モータ・ロボット系組込ソフトの受託開発
- 半導体製造装置関連
- 自社パッケージ「臨床検査システム / CLIP®」、「健診システム / MEX-Plus®」の販売、等

事業領域別売上内訳



金融事業 50.0%

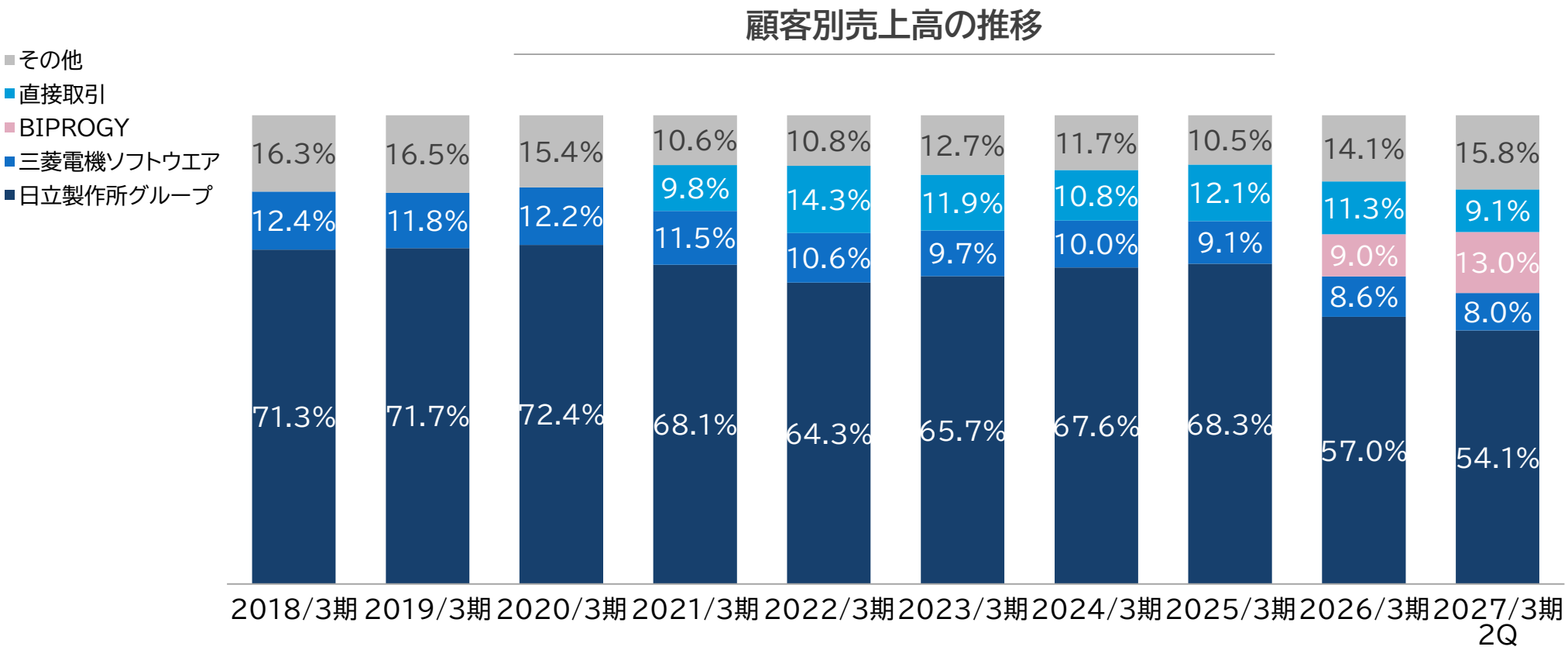
- 銀行の基幹系三大業務（預金、貸付、為替）システム、元帳移行（バージョンアップ）
- 生損保業務システム、ノンバンク請求管理・審査等業務システム
- 証券保管振替システム、取引所清算業務システム、等

- クラウド化等のITインフラ構築案件の増加に対応
- オンプレミス / クラウドシステムのインフラ構築

（ITイノベーション事業から統合）

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

- 日本を代表する企業との安定的な取引基盤を長期にわたり有する
- 日立製作所グループ向け売上が主であることは変わらないが、グリーンキャット社連結に伴いBIPROGY向けが加わり、三菱電機グループ向けも継続して安定的な受注が見込まれ、取引先の多様化が図られている
- エンドユーザーとの直接取引が全社売上に占める割合は約1割。新規取引先開拓とあわせて拡大を図る



Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

2. 2027/3期 2Q決算概要・通期見通し

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

- 連結範囲の拡大と各事業分野の堅調な受注により、売上高は前年同期比＋20.2%
- 販管費は＋22.3%増加も、増収と粗利益率の改善で吸収し、営業利益は＋45.8%の増益、営業利益率も1.2ポイント上昇
- 売上高・売上総利益とも上半期での最高額を更新。前年度に比し進捗率も順調

（百万円）	2026/3期 2Q累計	2027/3期 2Q				
		2Q累計実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	3,899	4,686	＋786	＋20.2%	10,000	46.9%
売上総利益	711	919	＋208	＋29.3%	1,950	47.2%
粗利益率	18.2%	19.6%	+1.4pp	–	19.5%	–
販管費	497	608	＋110	＋22.3%	1,115	54.6%
営業利益	213	311	＋97	＋45.8%	835	37.3%
営業利益率	5.5%	6.6%	+1.2pp	–	8.4%	–
経常利益	231	332	＋100	＋43.6%	900	36.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	214	291	＋77	＋36.2%	720	40.5%
EPS	92.7円	125.3円	＋32.6円	＋35.1%	309.2円	40.5%

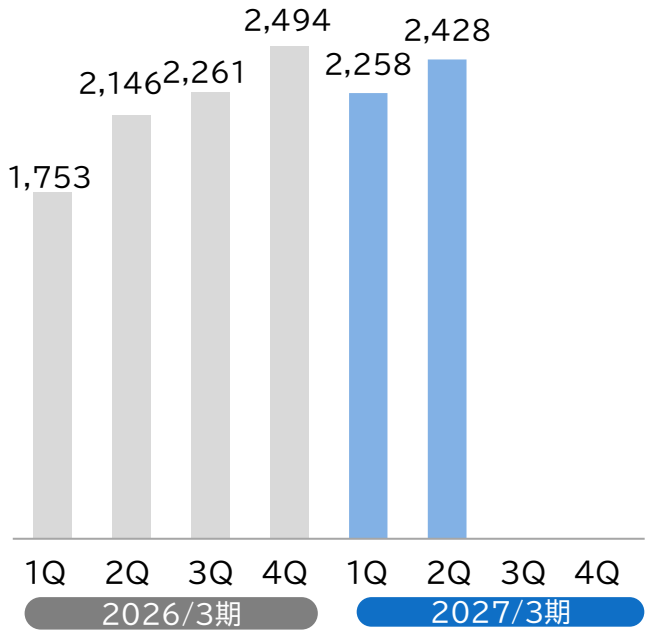
※グリーンキャット社（12月決算）は、前期は5月の株式取得に伴い2Qから連結（2026/3期2Q累計は2か月分）、今期は期初から連結業績に反映

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

- 順調に受注を拡大し、四半期ごとに伸長。2Qは売上高2,428百万円（前年同期比＋13.1%、1Q比＋7.5%）と拡大
- 販管費は引続き増加傾向だが、1Qの345百万円から2Qは262百万円へと平常状態に移行し、営業利益は211百万円へ増額（前年同期比＋21.4%、1Q比112.7%）

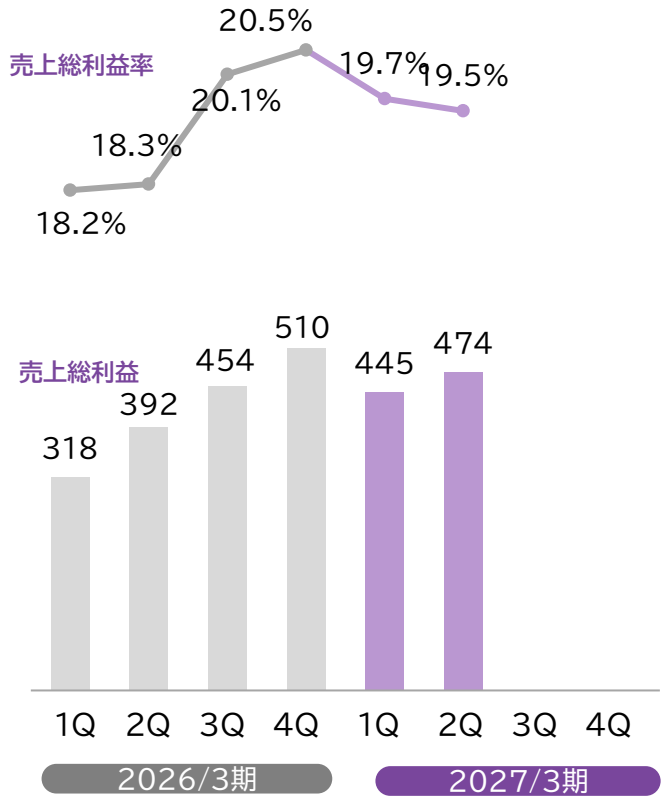
売上高の推移 （百万円）

2Q売上 前年比＋13.1%



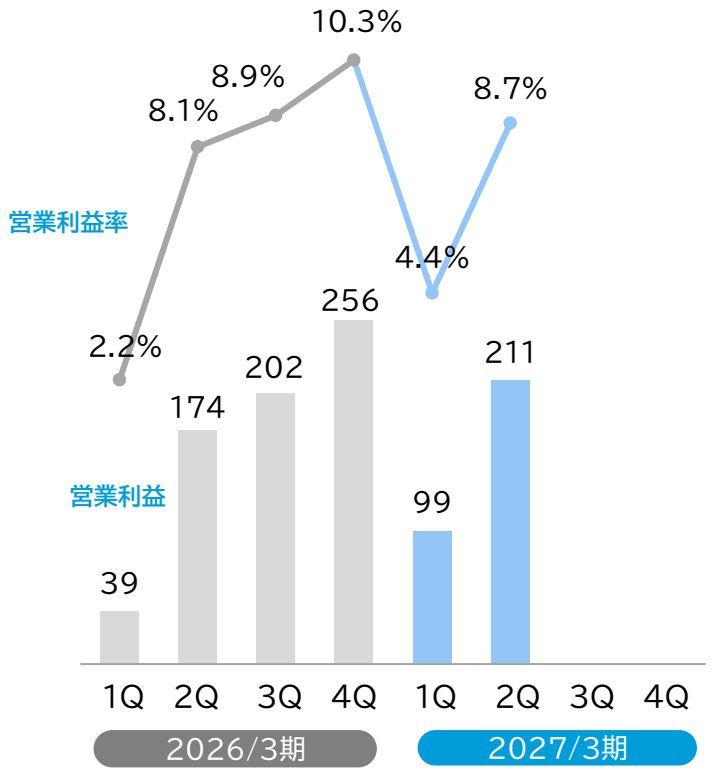
売上総利益及び同利益率の推移 （百万円）

2Q粗利益率19.5%



営業利益及び同利益率の推移 （百万円）

2Q営業利益8.7%



※グリーンキャット社（12月決算）は、前期は2025年5月の株式取得に伴い2Qから連結、今期は期初から連結

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

- 増収と粗利益率の改善で売上総利益は208百万円増加。人件費・研究開発費・のれん償却の増加で販管費は110百万円増加したが、これを吸収し営業利益は97百万円増の311百万円（+45.8%）



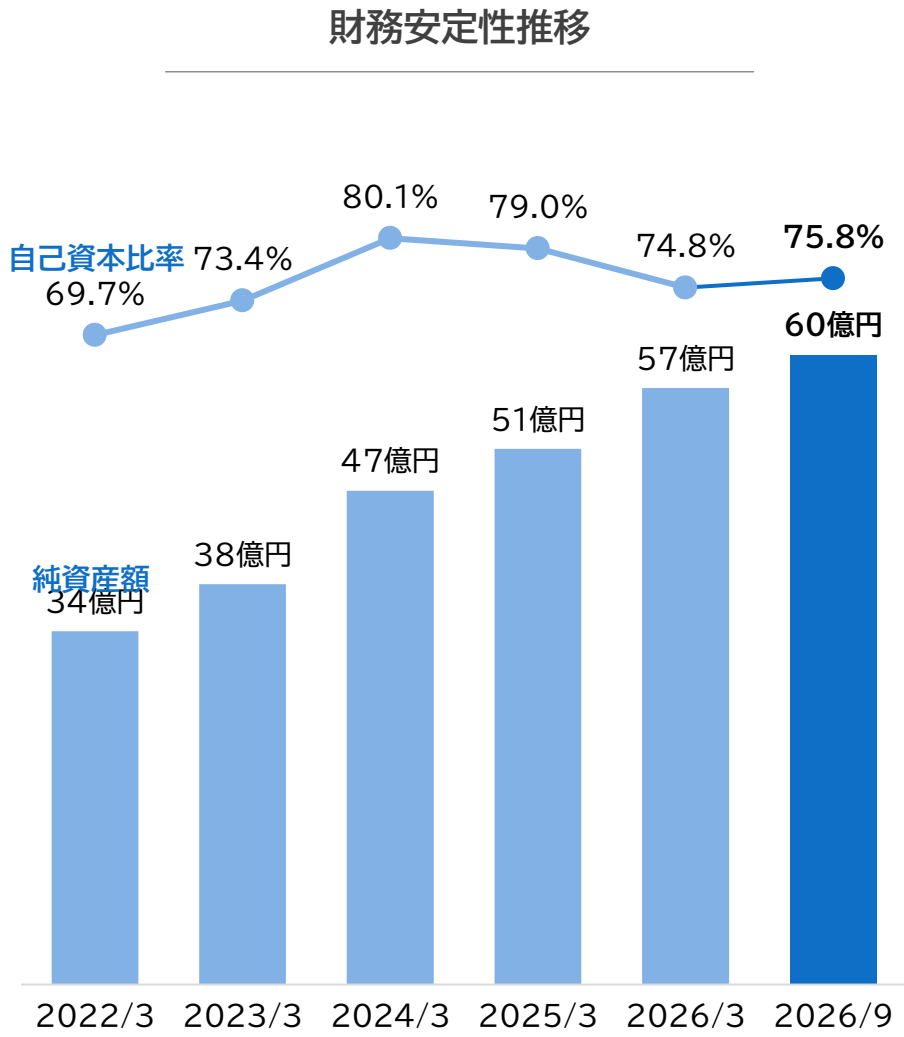
※増収効果＝売上高増加額×前年同期粗利益率、利益率改善＝粗利益率の改善幅×当期売上高により算出（百万円未満切捨て）

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

B/Sの状況

- 純資産は311百万円増加の6,010百万円、自己資本比率は75.8%と7割超を維持
- 現預金2,264百万円と手元資金も潤沢で、高い流動性を確保

（百万円）	2025/3	2026/3	2026/9	前期末比増減
流動資産	3,937	3,834	3,720	△113
現預金	2,638	2,291	2,264	△27
売掛債権	1,214	1,426	1,350	△75
仕掛品	16	24	23	△0
固定資産	2,534	3,785	4,208	+422
のれん	188	615	572	△43
顧客関連資産	143	411	396	△15
投資有価証券	2,011	2,505	2,996	+490
総資産	6,471	7,620	7,928	+308
負債	1,357	1,921	1,918	△3
買入債務	268	310	310	△0
純資産	5,113	5,698	6,010	+311
負債及び純資産	6,471	7,620	7,928	+308
自己資本比率	79.0%	74.8%	75.8%	+1.0pp

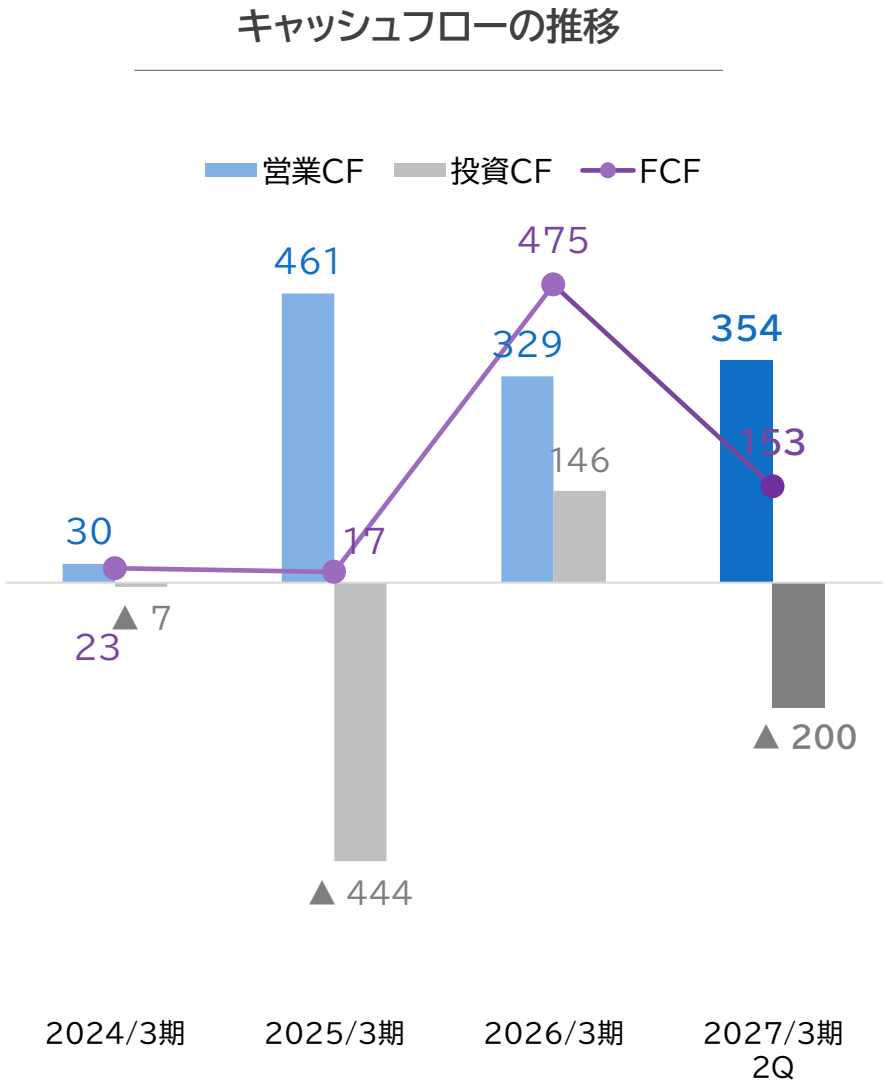


Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

C/Fの状況

- 営業CFは順調に利益を計上し354百万円(前年同期2百万円)、FCFは153百万円
- 増配を継続できるキャッシュフローは十分

(百万円)	2025/3期	2026/3期	2027/3期2Q
営業CF	461	329	**354**
税前当期利益	695	845	**430**
減価償却費	34	45	**25**
債権債務増減	△91	△98	**74**
法人税等支払額	△32	△332	**△101**
投資CF	△444	146	**△200**
固定資産取得	△30	△15	**△4**
定期預金預入・払戻	100	598	**△1**
投資有価証券取得・処分	△101	△168	**△193**
子会社株式取得	△407	△247	**—**
FCF	17	475	**153**
財務CF	△184	△271	**△181**
配当金支払額	△184	△208	**△127**
現金及び現金同等物増減額	△167	203	**△28**
現金及び現金同等物残高	2,038	2,242	**2,213**



Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

2027/3期 通期業績見通し

- 2027年3月期は連結中期経営計画の最終年度。25/3期にヒューマン＆テクノロジー社、26/3期にグリーンキャット社を連結に加えた体制で、売上高100億円（前期比＋15%）の達成を計画
- 人件費・外注単価の上昇や新卒採用・教育研修費用の増加を増収効果で吸収し、営業利益（＋24%）・経常利益（＋24%）・親会社株主に帰属する当期純利益（＋20%）の増益を見込む
- 通期見通しは2026年4月22日公表から変更なし。2Q進捗率は売上高46.9%、営業利益37.3%と、期初計画に沿って順調に業績は伸長しており、例年どおり下期に業績が集中する見込み

（百万円）	2026/3期（実績）	2027/3期（業績見通し）	増加額	増加率
売上高	8,655	10,000	+1,344	+15.5%
営業利益	672	835	+162	+24.2%
経常利益	727	900	+172	+23.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	599	720	+120	+20.1%
EPS（円）	258.8	309.2	+50.4	+19.5%

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

現状においては配当金での株主還元を柱と認識

- 2026年3月期は年間100円の計画を105円に増額。上場以来3期連続増配、配当性向40%以上を実現
- 今後も業績・財務状況・投資計画を考慮し、連続増配を継続して利益を還元していく方針
- 2027年3月期は20%増益の計画を踏まえ、年間125円（20円増配）を予定（中間配当は60円）

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期（計画）
一株当たり配当額	50円	70円 （30円）	80円 （40円）	**105円 （50円）**	**125円 （60円）**
うち、記念配	–	10円 （5円）	–	–	–
EPS	239.5円	193.0円	210.6円	258.8円	**309.2円**
配当性向	20.9%	36.3%	38.0%	40.6%	**40.4%**

※配当金額の下段括弧は中間配当金額を内書き

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

3. 中期経営計画(連結)の概要と進捗状況

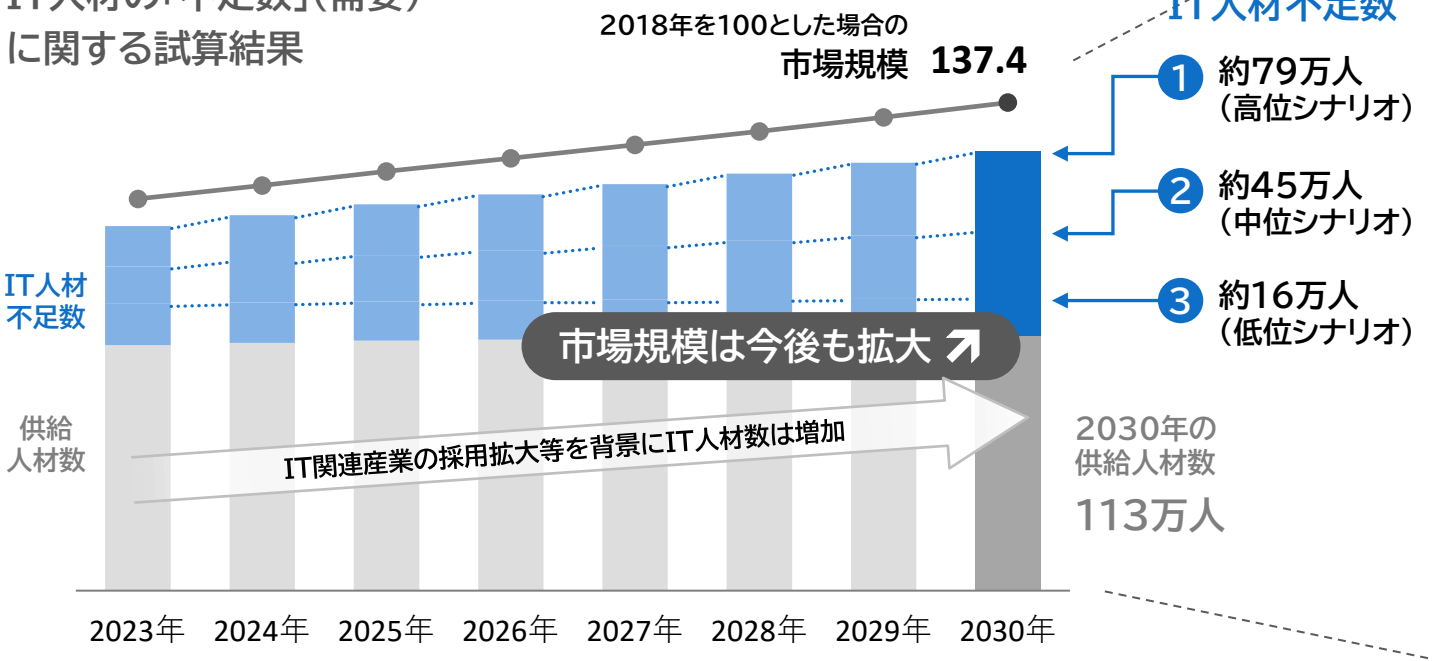
The OBS Way

~ Creating the future with new value ~

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

- 2024年～2029年の年間平均成長率（CAGR）は6.4%、2029年の国内IT市場規模は34兆6,954億円と予測（IDC）
- 2030年に最大約80万人規模のIT人材不足を予測（IDC）
- AI等技術進化により、従来型IT人材からAI技術等に対応する先端IT人材への転換が求められており先端IT人材への切り替えが進まない場合、従来型IT人材は余剰が発生し先端IT人材は55万人不足する展望も（METI）

IT人材の「不足数」（需要）に関する試算結果



2030年の
IT人材不足数

1. 約79万人（高位シナリオ）
2. 約45万人（中位シナリオ）
3. 約16万人（低位シナリオ）

引用：経済産業省－ IT 人材需給に関する調査 － 調査報告書
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/houkokusyo.pdf

当社事業を取り巻く事業環境

- 金融、公共、社会分野での開発案件は底堅いが、当社取引先各社ではAI活用等による生産性向上の取組みが加速
  →日立製作所では2027年ソフト生産性30%向上に取り組み中
- エンドユーザ自身での生成AIやAIエージェント等によりAIアプリケーション利用の加速が予想され、これら開発ニーズへの対応が求められている
- コーディングやテストといったプログラム開発領域から、AIを使いこなし上流設計に対応可能な人材ニーズは高まっている

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

- これまでの事業基盤を活かしつつ、
- 新たなビジネステーマへの挑戦を行いさらなる成長を実現
  →技術力を強化し、社会課題解決と自社成長を目指す
- 当社の取引先の多くで社会イノベーションへの取り組みが
  進んでおり、これらへの参加を通じて
  持続的社会の実現へ貢献を図っていく



持続的成長を目指す

社会課題解決への貢献

これまでの事業基盤の
一層の成長

体制の強化
技術力の強化

新たなビジネステーマへの挑戦

株式会社 オービーシステム

社会ニーズを最前線で解決するシステムインテグレーター

日本の社会インフラを支える企業

金融　社会公共　産業流通

2027/3期 連結経営目標

売上成長

100億

利益目標

営業利益率10%
（売上総利益率20%）

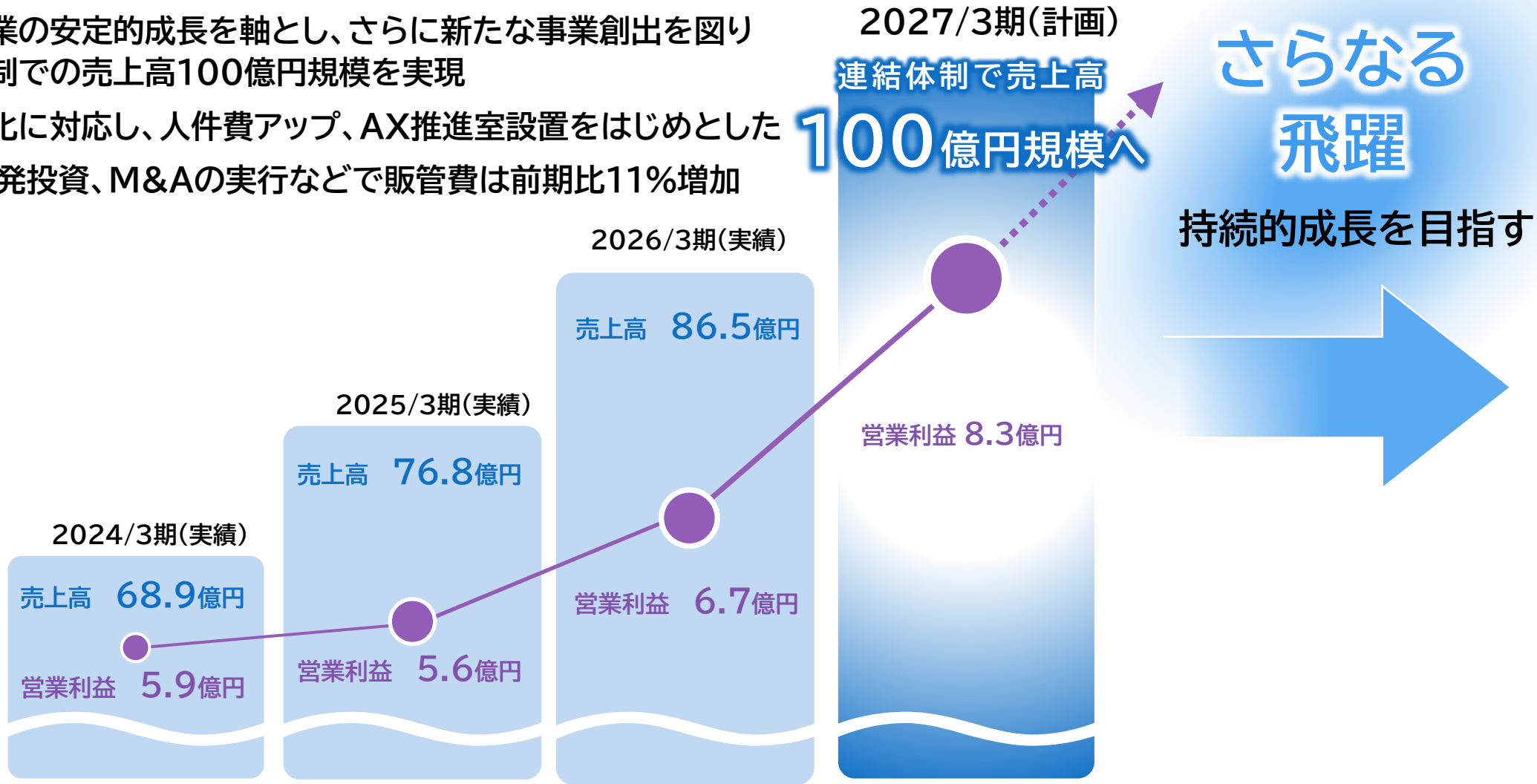
ROE

13%

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

連結中期経営計画最終年度の数値計画（2027/3期）

- 既存事業の安定的成長を軸とし、さらに新たな事業創出を図り連結体制での売上高100億円規模を実現
- 環境変化に対応し、人件費アップ、AX推進室設置をはじめとした研究開発投資、M&Aの実行などで販管費は前期比11%増加



Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

連結中期経営計画期間での数値目標（2025/3期～27/3期）

- 24年4月にヒューマン＆テクノロジー社、25年5月にグリーンキャット社を子会社化し、中期経営計画達成に向けた体制を整備
- 現中計最終年度での売上高100億円規模の達成を目指す

連結経営開始 →

（億円）	24/3期（単体）	25/3期（連結）		26/3期（連結）		27/3期（連結）		24/3期・27/3期の比較	
	実績	実績	前期比	実績	前期比	見通し	前期比	額	24/3期比
売上高	68.9	**76.8**	111%	86.5	113%	100.0	116%	**31.1**	**145%**
営業利益	5.9	**5.6**	95%	6.7	120%	8.3	124%	**2.4**	**141%**
経常利益	6.3	**6.1**	97%	7.2	119%	9.0	124%	**2.7**	**142%**
当期純利益	4.4	**4.8**	110%	5.9	123%	7.2	120%	**2.8**	**163%**

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

・2027/3期　連結売上100億円を目指す中期経営計画の最終年度
・急速なAIシフトに対応するための追加アクションを推進するとともに、次期中期経営計画も検討中

中期経営計画成長戦略

既存事業の拡大　／　新事業の創出・拡大

成長アクション ①

取引先の拡大・システム開発力／人材の一層の強化

計画的新卒社員の確保による体制拡大

- 2024年4月：52名
- 2025年4月：49名
- **2026年4月：46名**
  （OBS社員合計535名：2026/4）

M&Aによる事業体制強化

- ヒューマン＆テクノロジー社約40名
- グリーンキャット社約90名

（連結社員合計665名：2026/4）

成長アクション ②

R&D・業務提携拡大による事業拡大の加速

MILIZE × CLIP 検査システム

AI機能搭載CLIP2025年4月より販売

大阪大学 THE UNIVERSITY OF OSAKA × 株式会社 オービーシステム

大阪大学との共創検討を実施
→2025年度研究成果取り纏め：
ソフト開発上流の完全性考察

「AX推進室」発足2026/1～：
AIビジネスの加速を狙いとしたR＆D活動、共創提案を推進中

成長アクション ③

資本業務提携（M&A）拡大による事業拡大の推進

株式会社ヒューマン＆テクノロジーとの資本業務提携（2024年4月）

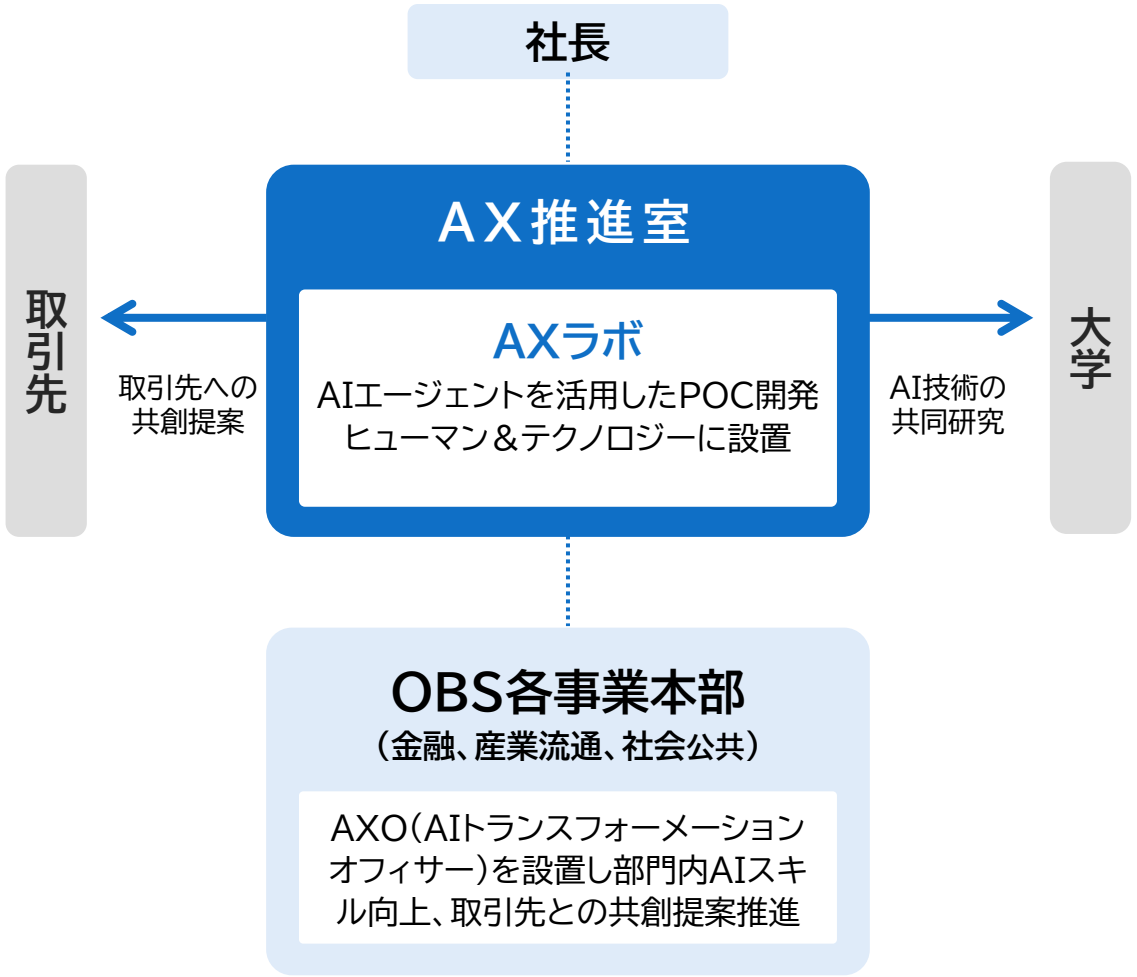
2015年10月設立の札幌を拠点として組込み系システムおよびWeb系アプリ開発に強みを持つソフト開発会社

株式会社グリーンキャットとの資本業務提携（2025年5月）

1984年8月設立のBIPROGYを始めとした大手上場企業を中心に、金融系に強みを持つSI、ソフト開発会社

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

● 2026年1月よりAX推進室を発足し自社R＆D活動の強化、取引先とのビジネス共創の活動強化を推進



AX推進室取り組み内容

1 取引先に対するAIエージェントを活用した POC（実証実験）提案により新たなビジネス共創推進

- **社内業務効率化をテーマとしたAIエージェント開発**
  →社内業績管理業務効率化、社内規定検索効率化、社外向けFAQ試行等
- **取引先へ向けた共創提案を推進中**
  →取引先ごとの付加価値創出テーマを提案（2案件進行中）

2 産学協同によるAI共同研究の推進

ソフトウェア開発上流設計の生成AI活用による十分性評価の研究実施
（～2026年3月）

3 社内AIリテラシー向上へ向けた教育推進

AI資格取得に向けた取り組みを強化
2026年4月末時点150名の資格取得（azure、awsの実施するAI資格取得）

**これらの活動を通じ社内のAIリテラシーを高め、
取引先に対し技術面での信頼性を醸成し、
AIを活用した新たなビジネスモデルの創造を進めていきます。**

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

- R&Dの一環として、AX推進室による取引先との共創活動（ユースケース提案～POC開発）、産学協同によるAI活用によるソフト生産性向上、ハッカソン参加によるAIリテラシー向上等の活動に取り組んでいます。

取引先共創 ① コールセンター向けAIチャットボット

専門的知識の必要な装置操作に関するコールセンタ業務をAIチャットボットで実現



- 5カテゴリ選択＋自由入力の両方で質問可能
- 回答後の「役に立った」評価で精度を継続改善
- QRコードからスマホで即アクセス
- 金融機関にふさわしい親しみと信頼のデザイン

期待効果：取引先業務の課題解決／専門業務領域の知見拡大／AIｴｰｼﾞｪﾝﾄ開発能力向上／取引先との関係強化／社内AI活用情報共有加速／業界内差別化推進

取引先共創 ② 部品調達選定支援AIエージェント

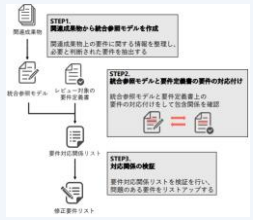
部品調達における生産中止対応、BCP対応等による調達作業をAIエージェントが支援

01 型番を入力
02 主要スペック抽出
03 代替候補・比較表
04 未達条件に⚠表示

- 型番入力だけで代替候補3～5件を一気通貫で提示
- ピン互換性・必須条件（電圧/温度/RoHS）を判定
- 比較表をExcel出力し承認・社内共有に活用
- 追加質問で絶対最大定格等も深掘り可能

産学共同研究 LLMを活用した要件定義完全性レビュー

ソフトウェア開発上流領域の設計結果の完全性評価をAIによりサポート



- 議事録等をMarkdown化し「統合参照モデル」を生成
- 要件定義書と照合し「根拠あり／根拠不明／欠落」で評価
- LLMは候補提示に留め、最終判断は人が担う
- TOPICS：共著論文がソフトウエアシンポジウム下関
  国際会議APSEC2026（バリ島）にて発表

期待効果：研究活動リテラシー醸成／品質・開発効率向上／ソフト開発業界への貢献

社内AIリテラシー向上 東京都知事杯オープンデータ・ハッカソン参加

東京都が抱える社会課題の解決を狙いとして「AED設置場所探索ゲーム」によりハッカソン参加

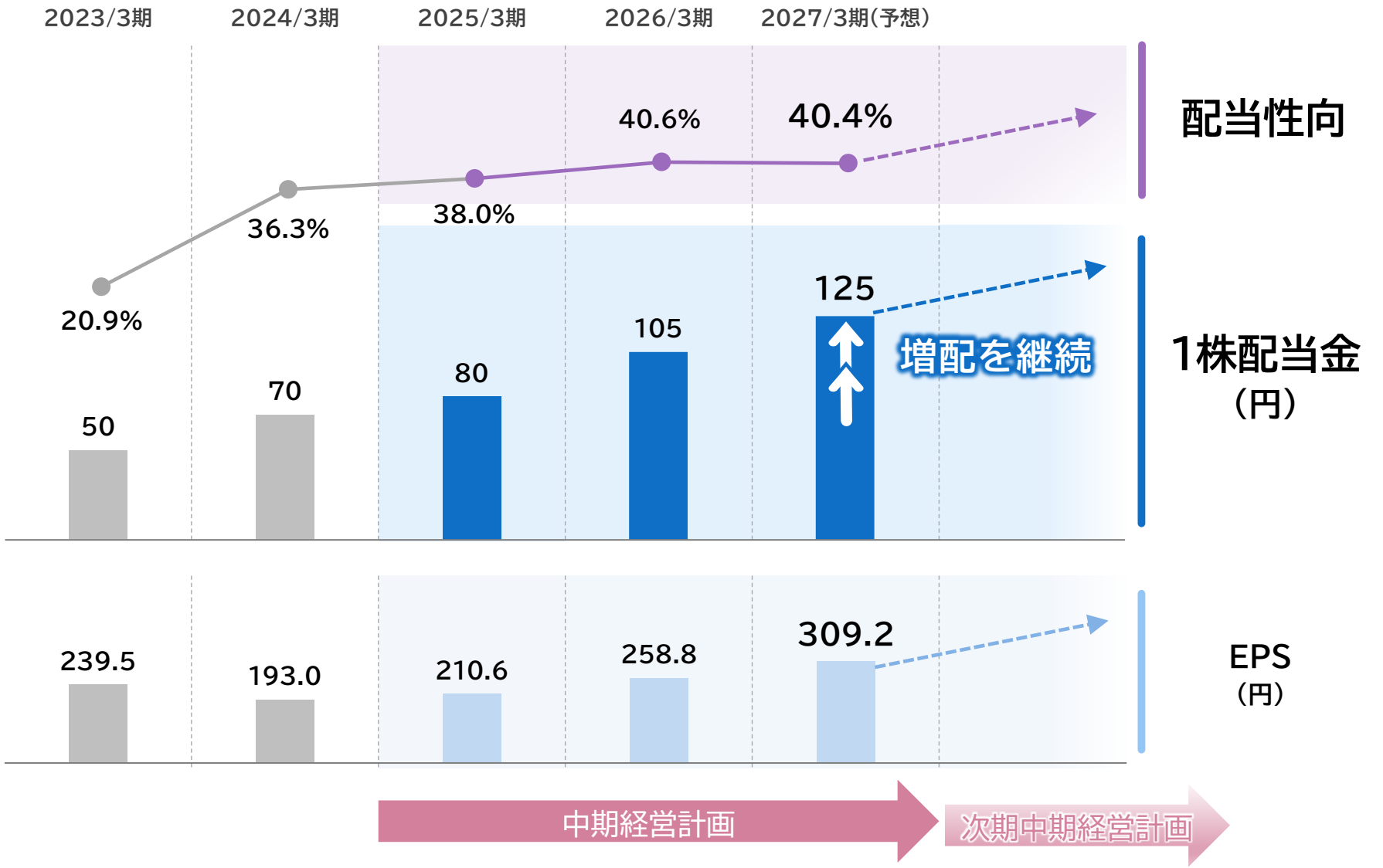


- 東京都某所AEDオープンデータ（146件）を活用
- 未点検AEDをミッション提示→現地撮影・投稿
- AI画像判定で設置状況を判定し地図で可視化
- Claude Cowork×Codeで企画～モックアップを推進

期待効果：社員のモチベーション向上／当社プレゼンス向上／社会貢献

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

株主還元



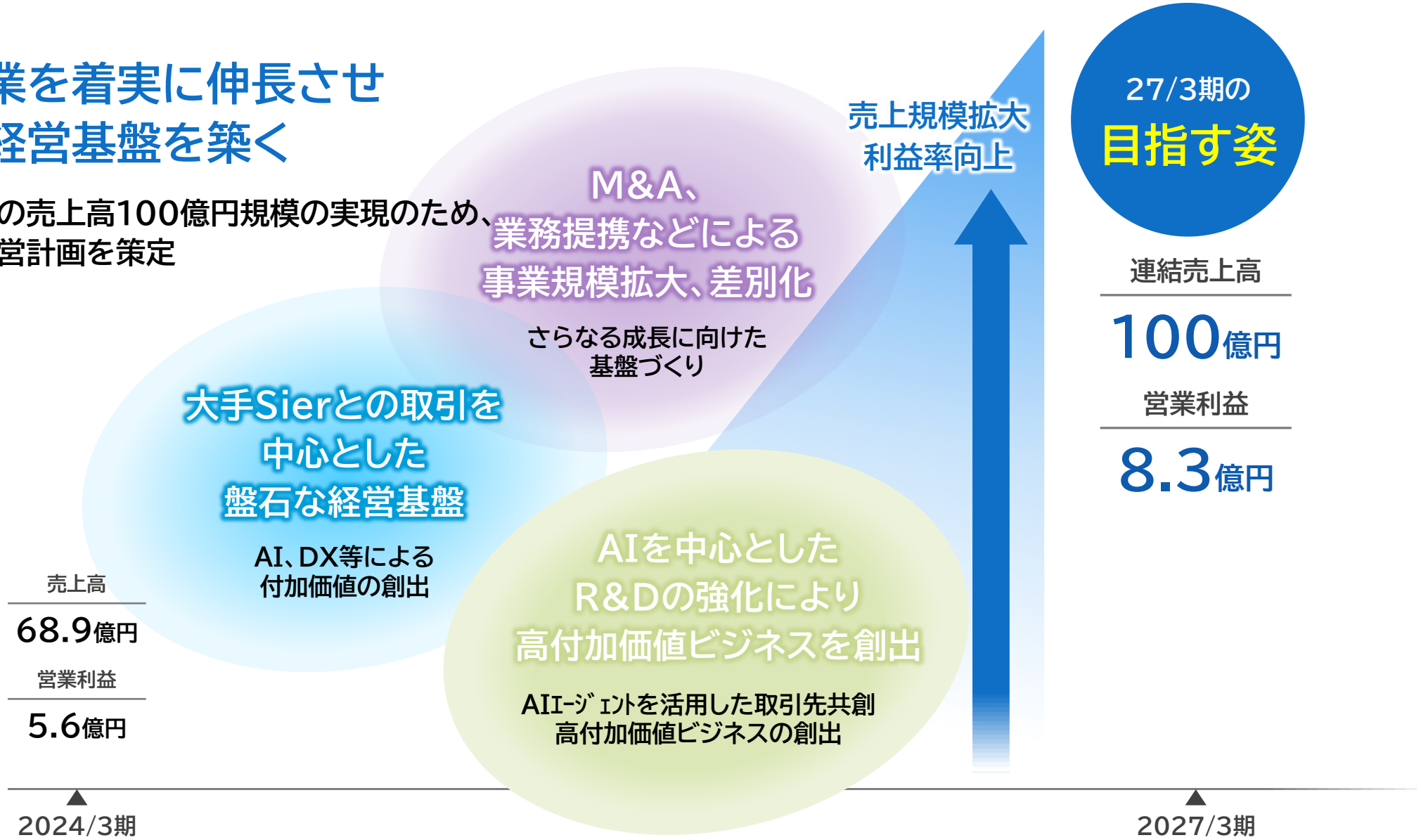
中長期的な視点で
業績や財務状況、
投資計画の状況を考慮し、

**配当性向、配当金額を
上げていくことで
利益を還元していく**

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

既存事業を着実に伸長させ強固な経営基盤を築く

連結体制での売上高100億円規模の実現のため、
連結中期経営計画を策定



Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

THE OBS Way

Creating the future with new values

～　新たな価値で未来を創る　～

Purpose in life
生きがい

1. 感謝の心

今ある自分に感謝し、
働く喜び、生き甲斐を持とう

Self-development
成長

2. 人格向上の心

仕事を通じて自己啓発し、
人格向上を図ろう

Peaceful living
幸福

3. 生活向上の心

豊かな安定した生活を
目指そう

Sustainable society
持続的成長

4. 企業の心

デジタル・IT関連などの
情報システム技術、サービスの
提供を通じて持続可能な社会の
実現に貢献しよう

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

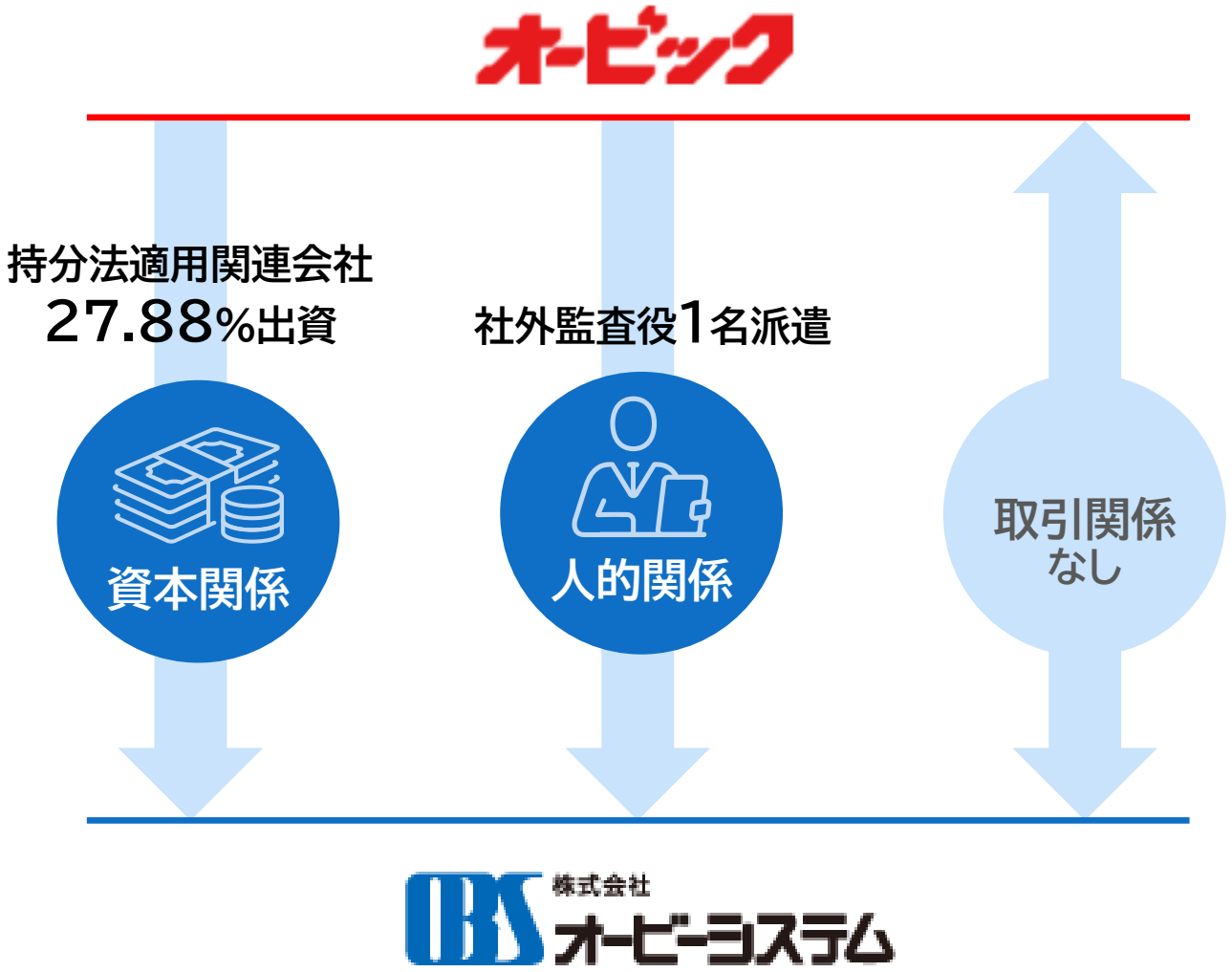
APPENDIX

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

会社概要

社　　名	株式会社オービーシステム
代 表 者	代表取締役社長　豊田　利雄
設　　立	1972年8月
本社所在地	大阪市中央区平野町2-3-7　アーバンエース北浜ビル
資 本 金	1.9億円(2026年3月末)
事業内容	システムインテグレーションサービス
売上規模	86.5億円(2026/3期)
従業員数	624名(2026年3月末)
総 資 産	76.2億円(2026年3月末)
役員構成	代表取締役社長　豊田　利雄 取締役　杉田　欣哉 取締役　上村　忠嗣 取締役　杉本　繁治 取締役　長谷川　篤 社外取締役　白石　徹 社外取締役　堀野　桂子 社外監査役(常勤)　渡辺　天山 社外監査役　阿南　友則 社外監査役　佐々木　健次 執行役員　山口　雅也 執行役員　和田　三紀夫 執行役員　中平　幹夫 執行役員　鈴木　信之
主な取引先	日立製作所、日立ソリューションズ BIPROGY、 三菱電機ソフトウエア　他

株式会社オービックとの関係



Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

中期経営計画の活動を通じて、自社の成長のみならず社会課題の解決へ貢献

テーマ	目指すべきゴール	施策
人材育成	計画的な人財強化でデジタルによる社会課題への対応を図り、レジリエントな社会の実現に貢献します	・教育投資を強化し、人材の確保・育成を実施
気候変動への対応	温室効果ガス排出量の削減、廃棄物の削減、ペーパーレス化を目指します	・オフィスの温室効果ガス排出量を算定、把握 ・各種書類の電子化を進め、オンライン会議を推進し、可能な限りペーパーレス化を図る
人権・ダイバーシティ	事業を支える人材一人ひとりの価値観や個性を認め、多様性を尊重し、男女共同参画の推進等、社員一人ひとりが自分の能力や適性を存分に活かして働ける環境を目指します	・定年再雇用、キャリア採用の常時実施 ・在宅勤務 ・内部通報制度
健康経営	従業員が心身ともに健康で明るく生き生きと働ける環境の維持向上を目指します	・仕事と育児の両立支援、女性のキャリア形成支援 ・健康経営優良法人2026（大規模法人部門）
ビジネスパートナー	これまでの取引先との連携を深化、新たなパートナー連携の拡大を目指します	・パートナーシップ構築宣言
品質セキュリティ	社会から持続的に信頼される企業を目指します	・プライバシーマーク（個人情報セキュリティ） ・情報セキュリティマネジメントシステム ・品質マネジメントシステム
コーポレートガバナンス	事業活動を継続的に成長させ、社会から持続的に信頼される企業を目指します	・企業経営の公平性・透明性の確保

→ 持続的事業成長

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

財務ハイライト

決算年月		2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月（連結）	2026年3月（連結）	2027年3月 2Q(連結)
売上高	千円	5,992,188	6,163,836	6,896,830	7,684,716	8,655,781	4,686,162
経常利益	千円	482,609	517,413	632,479	611,333	727,055	332,031
当期純利益/親会社株主に帰属する純利益	千円	338,551	497,479	441,579	485,246	599,736	291,655
資本金	千円	74,750	74,750	190,380	190,380	190,380	190,380
発行済株式総数	株	111,000	2,220,000	2,367,000	2,367,000	2,367,000	2,367,000
純資産額	千円	3,371,395	3,829,308	4,711,642	5,113,811	5,698,580	6,010,278
総資産額	千円	4,837,312	5,219,193	5,878,942	6,471,233	7,620,138	7,928,707
1株当たり純資産額	円	1,623.20	1,843.67	2,046.76	2,218.09	2,450.13	2,579.82
1株当たり当期純利益	円	163.00	239.52	192.99	210.57	258.81	125.31
1株当たり配当額	円	1,000.00	50.00	70.00	80.00	105.00	（中間）60.00
自己資本比率	%	69.7	73.4	80.1	79.0	74.8	75.8
自己資本利益率	%	10.5	13.8	10.3	9.9	11.1	–
配当性向	%	30.7	20.9	36.3	38.0	40.6	–
営業キャッシュフロー	千円	210,723	305,821	30,973	461,992	329,436	354,335
投資キャッシュフロー	千円	76,346	△18,112	△7,245	△444,892	146,115	△200,962
財務キャッシュフロー	千円	△83,080	△106,850	92,681	△184,130	△271,806	△181,695
現金及び現金同等物の期末残高	千円	1,908,277	2,089,135	2,205,544	2,038,514	2,242,260	2,213,938
従業員数	名	440	443	448	513	624	649

（注）当社は、2022年11月18日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益は期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。
当社は、2025年3月期より連結決算を開始したため、2024年3月期までは単体決算の数値を、2025年3月期以降は連結決算の数値を記載しております。

Copyright O.B.System Inc. All rights reserved.

＜ 見通しに関する注意事項 ＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先

株式会社オービーシステム　東京
本社IR担当
TEL：03-3471-9877（代表）
E-mail：ir@obs.co.jp